



**三重県立小児心療センター
あすなる学園**

1 診察概要

- (1) 開設年月日 1985年(昭和60年)4月1日
- (2) 園長 西田 寿美
- (3) 許可病床数 80床(うち第一種自閉症児施設分56床)
- (4) 診療科目 児童精神科
歯科(入院児のみ)
小児科(入院児のみ)

2 治療対象

- 発達障害(広汎性発達障害・多動性障害・学習障害)、知的障害、情緒障害、反応性愛着障害、反抗挑戦性障害、行為障害、チック性障害、統合失調症、気分障害、強迫性障害、不安性障害、身体表現性障害、解離性障害、適応障害、摂食障害、睡眠障害、てんかんなど。
- 不登校児や被虐待児への治療も行っており、児童青年期のあらゆる精神障害及び心理的問題を有する児を治療対象としている。

3 業務内容(1)

(1) 外来診察

月曜日から金曜日(祝祭日を除く)の午前8時30分から午後5時まで診察。(完全予約制)

診察、個人療法、家族療法、各種検査、幼児グループ療育、デイ・ケア等を実施。

(2) 入院治療

2病棟体制で運営し、第Ⅰ病棟東・西(就学義務年齢児童を基本)各27床で54床、Ⅱ病棟(思春期男児)26床の計80床で入院治療を実施。

3 業務内容(2)

(3) 外来療育 主治医の治療方針により療育が始まる。

幼児療育

目的 * 職員との関わりを通して、コミュニケーションの楽しさを味わう。

* 友だちと一緒に集団遊びを楽しむ。

内容 手遊び、教具による認知学習、描画・製作、感覚統合、運動など。

形態 集団 ... グループ療育

子ども4～5名をグループで

親子療育

4～5組の親子をグループで。

主に年齢の小さい子どもが対象。

生活療育

生活スキルの獲得を治療目的とする就学前の子ども4～5名で。

3 業務内容(3)

(3) 外来療育

学童療育

目的 集団のマナーやルール、コミュニケーションの方法を学びます。

楽しい経験を重ねる事で自信につなげていきます。

内容 SST、あるあるゲーム、へびじゃんけん等。

形態 集団療育

子ども4～5名でおこないます。

3 業務内容(4)

(4) 医療支援

県内の児童青年精神科領域のセンターとして、児童相談所への医師兼務、尾鷲総合病院でのサテライト診療を行っている。平成8年度に「いじめ等子どもまのころの相談班」を設置し、平成11年度に「子どもまのころの相談室」に改称し相談業務・地域との連携業務を行ってきた。平成19年度に「医療連携室」に改め、入・退院児関係者会議を始め、相談業務や小学校、中学校、児童相談所との連携を進めている。

4 沿革

- 1962年4月 県立高茶屋病院の児童部門として外来診察を開始
- 1980年8月 80床が児童福祉法による第一種自閉症児施設として認可
- 1984年4月 定床104に変更
- 1985年4月 「三重県立小児心療センターあすなろ学園」として県立高茶屋病院より分離して開園
- 2005年4月 病床数を80床に条例改正（第一種自閉症児施設56床、一般分24床）